

事業番号	15 01 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	教育総務事業費	部局	教育委員会	課・室	教育政策課	
		実施期間	不明～	E-mail	kyoiku @ pref.nagano.lg.jp	

### 1 現状と課題

- ・教職員が児童生徒に対する教育等の職務上の責任を果たし、保護者や地域社会からの信頼を得られるようにする必要がある。
- ・平成25年度から教職員の信頼回復、性暴力の根絶に向け取り組んでいるが、教職員による非違行為は引き続き発生している。
- ・令和4年度に「教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律」が施行され、教職員による児童生徒への性暴力の根絶に向け、一層の取組が求められている。

### 2 事業目的

- ・教育基本法の趣旨にのっとり、本県の教育の振興を図り教育行政が適切に運営されるよう、教育委員会を公正かつ適正に運営する。
- ・教員採用の透明化や非違行為防止を含めた教員の資質・指導力の向上を図ることにより、保護者や地域社会の信頼を得られる教育環境を確保する。

### 3 事業目的を達成するための取組

- ①教職員の非違行為の根絶に向けた取組の推進
- ・非違行為が発生した場合、専門家とともにその原因を検証し、新たな対策を検討
  - ・「再発防止研修」を効果的に実施
  - ・教職員による児童生徒への性暴力事案発生時に、専門家の協力を得て調査を実施
- ②指導力不足等教員判定委員会の開催
- ・精神科医、教育学の専門家等により、指導力不足と認定された教員の改善状況を判定
- ③合否決定委員会の開催
- ・外部の有識者（オブザーバー）の監督・立会のもと、教員採用及び校長・教頭の昇任を決定

### 4 成果指標

(推移の凡例 ↗:改善 ↘:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績		実績	推移	実績	推移			
①-1	児童・生徒に対するわいせつな行為による懲戒処分件数	件	0		3	↘	5	↘	0	未達成	児童生徒を相手方とする非違行為であり、教職員として起こしてはならないことから、その懲戒処分件数を指標とする。
①-2	体罰による懲戒処分件数	件	0		0	→	0	→	0	達成	児童生徒を相手方とする非違行為であり、教職員として起こしてはならないことから、その懲戒処分件数を指標とする。
①-3	飲酒運転による懲戒処分件数	件	0		2	↘	1	↗	0	未達成	特に社会的な反響が大きく、根絶が求められている非違行為であることから、その懲戒処分件数を指標とする。

### 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標		
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値	
5-1①	一人ひとりが自分にとっての幸せを実現できる学びの推進											

### 6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R5年度	0	8,417	0	8,417	8,417	7,585	5.8
R4年度	0	8,115	0	8,115	8,115	7,387	5.8
R3年度	0	8,140	0	8,140	8,140	6,727	5.8

事業番号	15 01 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	教育総務事業費		部局	教育委員会	課・室	教育政策課

## 7 主な取組実績と成果

### ①教職員の非違行為の根絶に向けた取組の推進

- ・近年の懲戒処分件数の増加傾向を受けて、専門家から、非違行為が発生する原因や対策に関する助言を得るため、コンプライアンスアドバイザー会議を2回開催
- ・コンプライアンスアドバイザー会議における専門家の助言を受けて、令和6年3月に「教職員の非違行為防止に向けた今後の対策」を取りまとめ
- ・「教職員の非違行為防止に向けた今後の対策」を速やかに全教職員に周知するため、「不祥事の根絶に向けた教職員向けリーフレット」を作成し、全公立学校に配布

### ②指導力不足等教員判定委員会の開催

- ・指導力不足等教員の認定に係る申請がなく、開催実績なし

### ③合否決定委員会の開催

- ・教員採用及び校長・教頭の昇任について、合否決定委員会を各2回開催し、外部の有識者（オブザーバー）の立ち合いの下で、採用者及び昇任者を決定

## 8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①-1	児童・生徒に対するわいせつな行為による懲戒処分件数	R4年度推移	↓	R5年度推移	↓	達成状況	未達成
・被処分者が性暴力に関する正しい認識を有していないことに課題があったと考える。							
指標①-2	体罰による懲戒処分件数	R4年度推移	→	R5年度推移	→	達成状況	達成
・各学校において実施する研修等の非違行為防止対策の効果が現れたものとする。							
指標①-3	飲酒運転による懲戒処分件数	R4年度推移	↓	R5年度推移	↗	達成状況	未達成
・被処分者の飲酒時の判断の甘さに課題があったと考える。							

## 9 今後の事業の方向性

### (1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

平成25年度に策定した「信州教育の信頼回復に向けた行動計画」をはじめ、県教育委員会が一丸となって非違行為防止に取り組んでいるにもかかわらず、令和4年度、5年度と、児童生徒性暴力等をはじめとする非違行為による懲戒処分件数は減少しておらず、非違行為の根絶に向けて更なる対策を講ずる必要がある。

### (2) 事業改善の方策

令和5年度に実施したコンプライアンスアドバイザー会議において、専門家からは、非違行為が発生する原因について、「教職員間で早い段階で悩みを共有できたり、窮状に気付く職場環境が形成されずに、悩みを持つ教職員が孤立化しているのではないか」や、「上司と部下、同僚同士のコミュニケーションを良くし、風通しと見通しのよい職場づくりが大事である」といった助言をいただき、それを踏まえて、令和6年3月に「教職員の非違行為防止に向けた今後の対策」を取りまとめた。

教職員一人ひとりが非違行為防止を自分ごととして捉えられるように、また、職場から非違行為を出さないことを意識できるように、対策の柱である研修を充実させ、教職員が互いに信頼や親和性を高め、よりよい学校をつかっていこうとする意識づくりを進めることなどにより、非違行為の根絶に取り組んでいく。

事業番号 15 01 01 **細事業一覧（令和5年度実施事業分）** 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	<b>教育総務事業費</b>	部局	教育委員会	課・室	教育政策課
-----	----------------	----	-------	-----	-------

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
1	<b>教育委員会費</b>		6,474 千円	7,186 千円	7,366 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	教育委員会の運営	直接	教育委員会定例会の開催 開催回数：13回		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
2	<b>教育委員会事務局費</b>		253 千円	201 千円	219 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	合否決定委員会の開催	直接	教員採用選考に係る委員会の開催 管理職昇任選考に係る委員会の開催 各2回		
2	指導力不足等教員判定委員会の実施	直接	指導力不足等教員の認定に係る申請がなく、開催実績なし		
3	非違行為根絶に向けた取組の実施	直接	非違行為防止対策等について助言を得るため、コンプライアンスアドバイザー会議を開催 2回		